

「西郷隆盛」に学ぶ 21世紀のリーダーシップ

2015年1月30日

田口 佳史

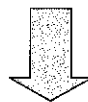
Taguchi.Yoshifumi -Please Do Not Copy-

「西郷隆盛」に学ぶ21世紀のリーダーシップ

明治維新に学ぶ

内憂—幕藩体制(封建領主制)の転換

外患—西洋列強の支配からの独立維持



一刻も早い近代国家の建設

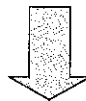
1. 新体制への移行
2. 西洋列強からの国家守護
3. 最短期間による近代国家建設

3

Taguchi.Yoshifumi -Please Do Not Copy-

1.新体制への移行

頑強な幕府権力への対抗勢力結集



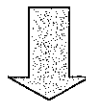
「薩長同盟」(1866年)

4

Taguchi.Yoshifumi -Please Do Not Copy-

2. 西洋列強からの国家守護

より強い関与を狙う西洋列強に
その機会を与えず



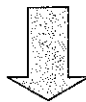
「江戸城無血開城」(1868年)

12

Taguchi.Yoshifumi -Please Do Not Copy-

3. 最短期間による近代国家建設

旧体制、旧弊、などを一掃して、
「御一新」の完成へ



御親兵創設、廃藩置県、廃刀許可、秩禄処分、
朝敵大名の大赦、国立銀行条例制定、学制発
布、電信・鉄道開業、徴兵令発布、地租改正条
例布告、太陽暦施行、職業選択・信教の自由
許可、人身売買の禁止

6

Taguchi.Yoshifumi -Please Do Not Copy-

岩倉使節団

1871(明治4)年11月12日出発

1873(明治6)年 9月13日帰国

新政府首脳が1年10ヵ月間留守

留守中筆頭参議 西郷隆盛

近代国家の根幹の整備

7

Taguchi.Yoshifumi -Please Do Not Copy-

西郷南洲翁遺訓 (抜粋)

一 廟堂びやうどうに立ちて大政を為なすは
天道てんどうを行なうものなれば、
些ちとも私はを挾はみては済はまぬ
もの也。

二 賢人百官を総すべ、政権一途いつと
に帰し、一格かくの国体定制な
ければ、縦たどえ令人材じんざいを登用し
言路ごんろを開き、衆説しゆせつを容いる
共とも、取捨しゆしや方向なく、事業じぎふ雑
駁ばくにして成功あるべからず。

三 政の大体は、文を興し、武を

振り、農を励ますの三つにあり。その他百般の事務は、皆この三つの物を助くるの具也。

四 万民の上に位する者、己れを

慎み、品行を正しくし、驕奢を戒め、節儉を勉め、職事に勤勞して人民の標準となり、下民その勤勞を氣の毒に思う様ならでは、政令は行われ難し。

二 道は天地自然の道なるゆえ、

講学の道は敬天愛人を目的とし、身を修するに克己を以て終始せよ。己れに克つの極功は「母意母必母固母我」と云えり。

二 己れに克つに、事々物々時に臨みて克つ様にては克ち得られぬなり。兼て氣象を以て克ち居れよと也。

二五 人を相手にせず、天を相手に

にせよ。天を相手にして、

己れを尽し人を咎とがめず、我

が誠の足らざるを尋たずぬべし。

三〇 命もいらず、名もいらず、

官位も金もいらぬ人は、

仕末に困るもの也。この

仕末に困る人ならでは、

艱難を共にして国家の大業

は成し得られぬなり。

南洲手抄言志録一〇一カ条（抜粹）

凡そ事およを作ことすには須ならく天すべかに事つか

うるの心あ有るを要すべし。人に

示すの念有るを要せず。

当どう今こんの毀き譽よは懼おそるるに足たらず。

後こう世せいの毀こ譽うは懼おそる可べし。

一とく身その得おもん喪ばかは慮たるに足らず。

子孫とくの得そ喪そうは慮る可し。

慎独しんどくの工夫は、当まさに身ちゆうじんの稠人こう広
坐ざの中うちに在るが如きと一般なる
べく、応酬の工夫は当に間居独
処の時の如きと一般なるべし。

今日の貧賤ひんせんに素行そこうする能あたわずん
ば乃すなわち他日きょうたいの富貴きやうたいに必ず驕泰きやうたいせ
ん。今日の富貴かんなんに素行そこうする能あたわ
ずんば乃すなわち他日きょうたいの患難くわんなんに必ず狼ろう
狽ばいせん。

推倒一世之智勇。
開拓万古之心胸。

宋の陳竜川

放 文
勲 思
欽 安
明 安。

書
經

15

Taguchi, Yoshifumi -Please Do Not Copy-

21世紀を開く

GLOBALとは何か

東洋という半球と西洋という半球の
人間英智の融合

東洋と西洋の知の融合

16

Taguchi, Yoshifumi -Please Do Not Copy-